



政治的な志向から発信する 若くダイナミックな一匹狼 ギャラリー・メゾンヌーヴ

GALERIE MAISONNEUVE

野外の巨大なペリゴの作品やヤン・コップの大衆の場での登場など、一般的に言うアート消費のマーケットとは異なったアプローチの作家を展示。フォーマルで美的感覚として即座に受け止めやすい作品よりも、現社会と政治を問いかけるアーティストとコラボレーションする。

24-32, rue des Amandiers 5ème ét.

75020 Paris ☎01.43.66.23.99

www.saintmonday.net ☎14:00~19:00

☎日・月 最寄り駅/Père Lachaiseから徒歩4分

9/9~10/30「アルベルト・ソルベリ個展」ギャラリーや美術館で独自のアートを表現。パフォーマンスを通して“危険状態”を挑発し、見物者の幻想や消費社会について問いかける。

MAP B

パリの中心地から離れた静かな環境。8月にはギャラリー所属のアーティスト、アレクサンドル・ペリゴ、リンコイン・トビアアなどのグループ展が開催された。

グレゴワール・メゾンヌーヴ パリでギャラリスト経験を重ね、独立。最初はインターネットを通して所属アーティストをアピール。2年前にギャラリーをオープンさせる。フランス人作家のみではなく、さまざまな国籍のアーティストを扱う。



The Blue Room 2004 | © Lincoln Tobier
[Sans Titre 2004] © Alexandre Perigot,
Courtesy Galerie Maizonneuve, Paris

